

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生活環境課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力				
分野別方針	(7)低炭素社会の形成		実施計画事業	1)地球環境保全事業(No.41)				
予算等事業名	公害防止対策事業(騒音・大気測定)							
目的	低炭素社会の実現をめざし、省エネルギー・自然エネルギーの推進を図るため、啓発や支援を行う。また、二宮町の特徴である空気が綺麗で風通しの良い快適な生活環境向上を図るため騒音大気測定や地域美化清掃の推進を図る。							
内容	県条例関係の苦情に迅速、適切に対応し環境保全を図るとともに、各種環境測定等の測定を実施し、町の環境を把握し公害を未然に防止を図る							
根拠法令・条例等	環境基本法、大気汚染防止法、騒音規制法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例、二宮町環境基本条例							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	町内6箇所騒音測定と一酸化炭素濃度測定を実施した。一酸化炭素濃度測定においては、6検体すべて環境基準値内であった。騒音測定においては12検体中3検体が環境基準値を超えたが、要請限度値以下であった。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	環境基準達成率(測定値が環境基準地内の測定検体数/測定検体数)				
前期(27年度)目標値	100%			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	環境基本計画実施計画の目標値より	
	83%				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		505	500				
財源内訳	一般財源	505	500				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 住民の健康保護及び生活環境を保全するため、環境調査を実施することは必要である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 住民の健康保護及び生活環境に直結するため、実施する必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 原則、同じ地点で環境調査を実施することで、町内の大気、騒音状況を把握することができている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	B
	【説明】 見積合わせを実施し、業者を選定している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 大気騒音測定を実施した結果、県道、国道において一部環境基準を超える値が検出されたものの要請限度値を超えるものではなく、環境状況の把握のため、今後も継続して測定することにより、経過を観察することが必要である。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	今後も継続して測定することにより、経過を観察する。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	環境調査を実施し、大気等の状況を把握する必要がある。		
今後の方向性	継続して環境調査を実施し、大気等の状況を把握する。		